



(初卵で雛見した人)



作. 三しあん

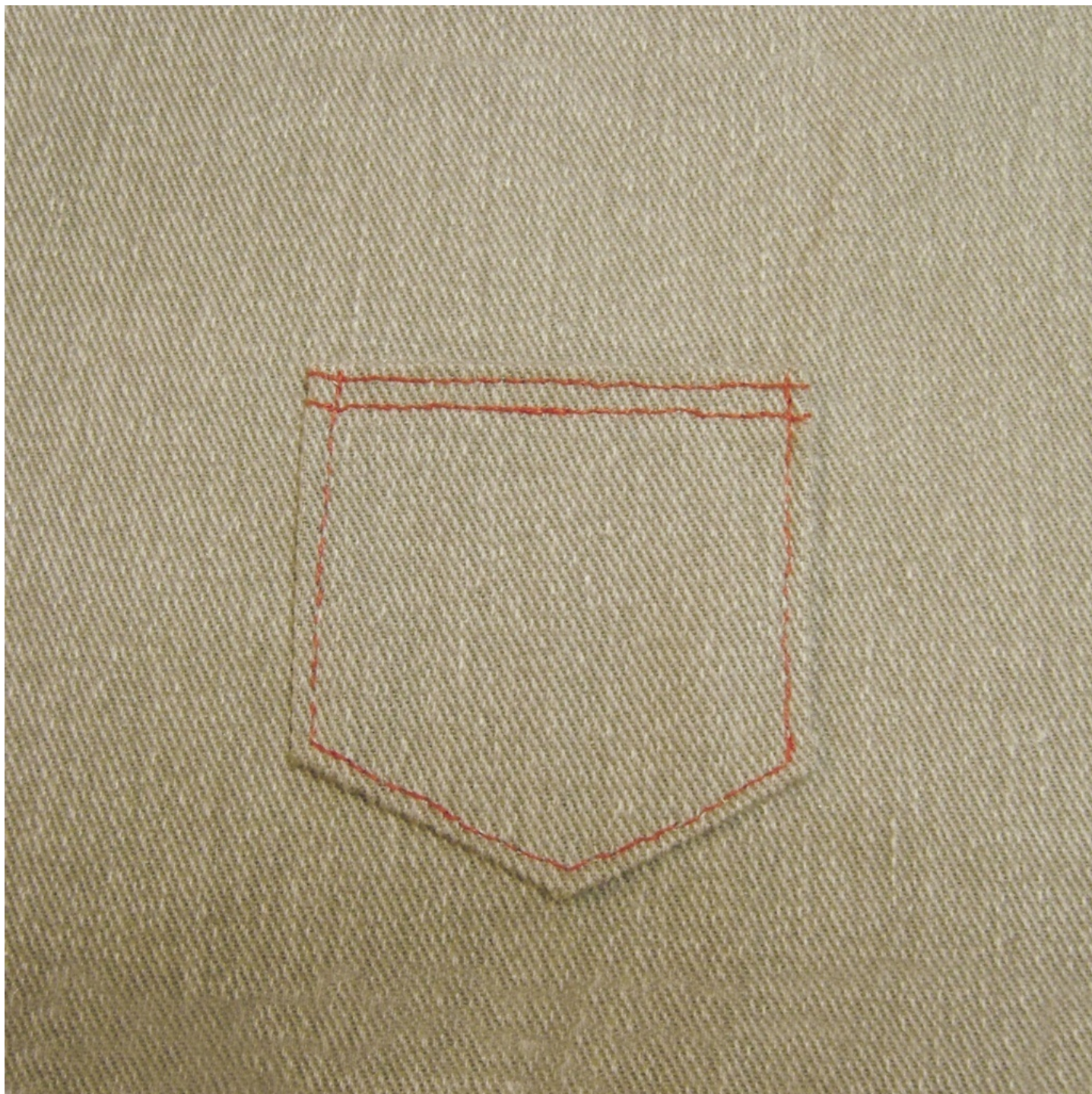


「ポケット研究家の武田好美です。」



「真のポケット好きは、やたらにポケットをつけないのです。」





「手入れの行き届いたポケットが1つあれば良いのです。」





「こんかいはポケット染色の材料あつめのために、島にやってきました。」





「あれは何？」





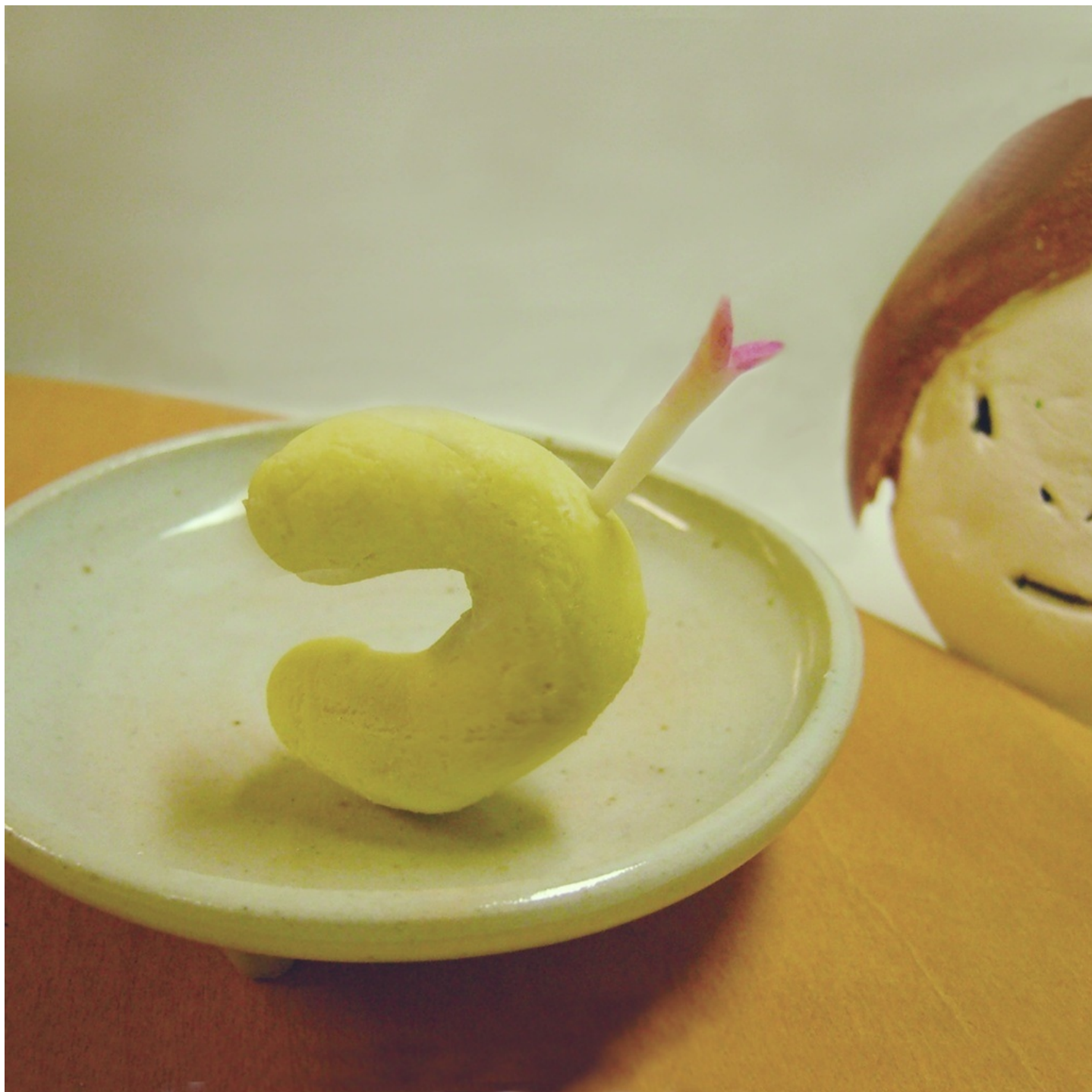
「目のまえを通りかかったその不思議な物体を、  
とりあえずポケットに入れて家に持ちかえりました。」





「家に帰って見てみると、ピンク色になって腐りかけていました。」





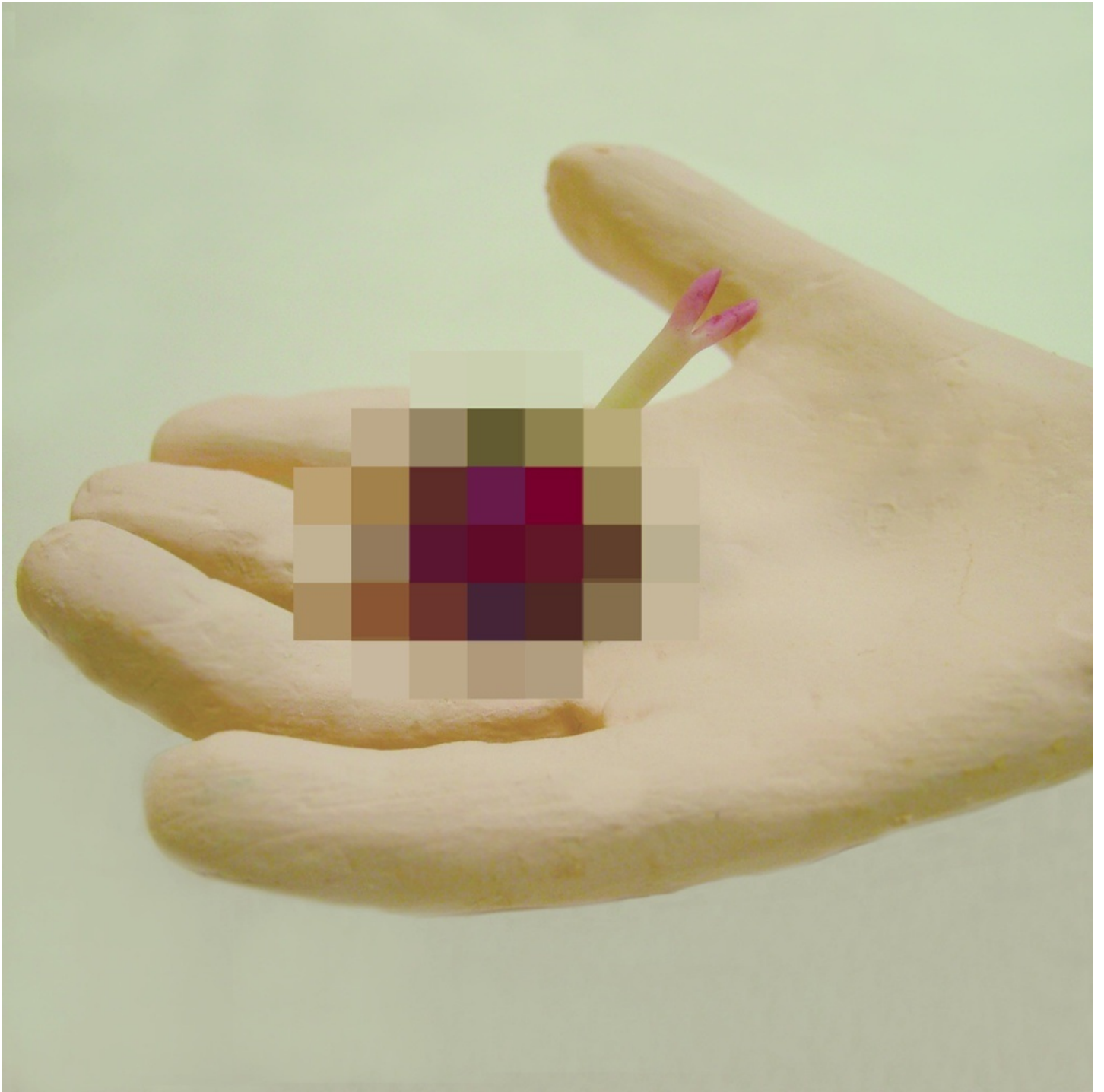
「次の日、お菓子になっていました。近くにあったお菓子だと思います。」





「中に何かいると思い、そのお菓子をほじってみました。」





「中に入っていた物は、ものすごく見られないものでした。」





「中の物はしだいにそわそわし出し、すぐお菓子へと入っていきました。」



「これが生物の新発見となり、  
わたしの名前から“武田”と名付けられました。  
武田は最終的にはこの姿になるようです。」



武田メモ（初めて発見した人）

<http://p.booklog.jp/book/10503>

著者：こしあん

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/kosian/profile>

発行所：ブックログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社paperboy&co.

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/10503>

ブックログのパブー本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/10503>